

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 2列王記 6:15-17 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 13番
- *交読文 …………… 13番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 176番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 396番
- メッセージ …………… 聖霊によって軍事力から守られる聖徒達(1サムエル記 19:18-24)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 178番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

だから、___は、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。
 時が来れば神は___を高くして下さるであろう。神は___をかえりみて下さるのであるから、___の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。
 身を慎み、目をさましていなさい。___の敵である悪魔が、ほえたけるししのよう
 に、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。この悪魔にむかい、信仰にかたく立って、抵抗しなさい。
 ___のよく知っているとおりに、全世界にいる___の兄弟たちも、同じような苦しみの数々に会っているのである。___をキリストにある永遠の栄光に招き入れて下さったあふるる恵みの神は、しばらくの苦しみの後、___をいやし、強め、力づけ、不動のものとして下さるであろう。
 どうか、力が世々限りなく、神にあるように、アメン。(1ペテロ 5:6-11)

私たちのこの地上での日々には、苦難があるが、それら全ては全能なる主のコントロールの下にある。主がそれらを許されるのは、それらを通して私達を練り、鍛え、ちょうど良い時に高めて下さるためだ。今日もダビデが歩んだ苦難の日々から、主はいかに主を頼る人達を守って下さるかを、見ていきたい。

サウルに追われ、自分の家さえ安全でなくなってしまったダビデが最初に逃げた先は、彼に油を注いだ預言者・サムエルの所だった。ダビデはサウルが自分にした全ての事を彼に告げると、彼らはナオテに行き住んだ。「ナオテ」はヘブル語で「住居」、アラム語訳では「教えの家」を意味し、預言者学校という語も、ここから出たらしい。そこには、預言者としての訓練を、サムエルから受けている人々の群れがあった。預言者学校ではどんな訓練が為されていたのだろう。そこでは日々、主に心を向け、色々な楽器を用いて主をほめ讃えつつ、御言葉を宣言する集會が開かれていたと思われる。なぜなら「預言」は、その漢字の通り、神の言葉を預かって宣言する事であり、また、賛美と預言とは、密接な関係があるからだ。(10:5) ダビデは暫くそこで養いを受けていたが、サウルはそれを聞きつけ、そこにも追手が迫る。(19-20) サウルは、思ったかも知れない。ダビデの周りには、預言を学ぶ生徒達がいるだけで、鍛えた体と武器を持った追手を邪魔する者はいない、簡単に捕らえられるだろう、と。しかし、知るべきだ。聖徒達に賛美されるお方は、天地万物を創られた万軍の主。ダビデを囲んでいるのは、軍隊よりも遙かに強力な聖霊だ。後のエリシャの時代、預言者学校の一人の生徒が、朝早く起きてみると、シリアの軍隊に囲まれていた。シリアがイスラエルに戦いを仕掛けようと策略を巡らしても、預言者エリシャによってことごとく見破られ、先手を打たれる事が続いたので、怒ったシリアの王は軍隊を差し向け、エリシャ達を滅ぼそうとしたのだ。『その若者はエリシャに言った、「ああ、わが主よ、わたしたちはどうしましょうか」。エリシャは言った、「恐れることはない。われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだから」。そしてエリシャが祈って「主よ、どうぞ、彼の目を開いて見させてください」と言うと、主はその若者の目を開かれたので、彼が見ると、火の馬と火の戦車が山に満ちてエリシャのまわりにあった。』(2列王記 6:15-17) 「主の使いは主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される。」とは、ダビデが後に詠んだ詩であるが(詩篇 34:7)、ダビデは、この預言者学校で守られている時、それを知ったのだろう。

ダビデを捕える使者達が来た時、ちょうどサムエルがリードする預言の集會の最中で、聖徒達はそれぞれ主をほめたたえ、祈り、御言葉を宣言し、あるいは語られる御言葉に耳を傾けていた。「その時、神の霊はサウルの使者たちにも臨んで、彼らもまた預言した。」(20-21) 実にユニークな守られ方である。サウルから遣わされた捕り手達は主の霊に臨まれ、預言し、そしてダビデを捕らえる事を止めたのだ。実際にそのような事は、ある。コロンビアのある教会で、悪霊に憑かれた人が入ってきて刃物を出し、牧師を刺そうとするのだが、人々が祈ると彼は何も出来なくなり、その場で倒れた。主の霊が満ち溢れる聖なる所では、悪しき者は活動する事が出来なくなるのだ。
 この事は、サウルに対する主の明らかな警告である。主はダビデの側についている、サウルのダビデを殺そうとする企みは、完全に御心に反する事だ、サウルはそれを知ってそれをやめ、悔い改めよ、と。サウルはそれをも心に留めず、再三、捕り手を遣わした挙句、最後にはサウル自らダビデを捕らえに行く。しかしなんと、サウルにさえも神の霊が臨み、サムエルの前で預言し、王服を脱いで裸で倒れ伏していた。イスラエルの間では「サウルもまた預言者たちのうちにいるのか」という言葉が、ことわざのように言い交された(23-24)。人々は本当に驚いただろう。聖霊充滿から程遠いような人が、聖霊に満たされるのだから。しかし、やがて来る。しもべにもはしためにも主の霊が注がれ、預言する時代が。今が、その時代である。どんなにつまらない者でも、悪どい事をしてきた者でも、主イエスが語られるなら、聖霊によって主を知り、悔い改めるなら、聖霊に導かれる新しい永遠の人生が始まる。
 しかしそれでも罪の道を選び、聖霊様を悲しませ続けるなら、やがて救いの道は閉ざされてしまうのだ。こうして、またしても、サウルの企みは退けられ、ダビデは軍事力によらず、神の霊によって守られた。私達を守られる方は、世のあの者よりも強く、賛美は私たちの防護壁となる。いつも主を賛美し、万軍の主を守られつつ安全に歩んでいく皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30~
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:30~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube